

2026年度  
(第十期)

立命館アジア太平洋大学孔子学院

# 神戸輝夫の 二豊漢学講座



大分県の文化的土壌の底層には二豊（豊前・豊後）の各地で花開いた漢学が息づいています。漢学とは特に江戸時代に学ばれた中国伝来の学問の総称で、具体的には哲学、歴史学、文学、地理学、漢方（医学）、本草学、天文学、数学、農学、書道、絵画、武術などの分野に及んでいます。この講座では、二豊の著名な漢学者について紹介します。

かんべてるお

講師：神戸 輝夫

元APU孔子学院学院長、前APU教授、大分大学名誉教授  
1939年4月 京都生まれ  
1964年3月 京都大学文学部史学科(東洋史学専攻)卒業  
1966年3月 京都大学大学院文学研究科修士課程修了  
1970年3月 同博士課程単位取得満期退学  
大分大学教育学部長、放送大学大分学習センター長などを歴任。  
主な研究分野は、中国における漢族と少数民族の摩擦問題、  
アジア・太平洋戦争期における日本の中国文化侵略、  
大友宗麟時代の中国・朝鮮・東南アジア交流史研究、  
シルクロード文化史研究。  
2017年11月 瑞寶中綬章 受章



二豊に関わりの深い  
漢学者について  
一緒に学びましょう

**前期【第一回】5月14日(木) 13:00~14:30**

「田能村竹田（1774~1835）と煎茶」

**【第二回】6月11日(木) 13:00~14:30**

「脇蘭室（愚山）（1764~1814）の随筆『見し世の人の記』の魅力」

**【第三回】7月23日(木) 13:00~14:30**

「杵築藩儒者綾部安正（綱斎）（1676~1750）の人物像」

**後期** ※詳細が決まり次第お知らせいたします

**【第四回】10月「廣瀬淡窓（1782~1856）の府内行」**

**【第五回】11月「廣瀬旭荘（1807~1863）の随筆『九桂草堂集』（10巻）に見る  
旭荘の人となり」**

定員：各回100名

会場：J:COMホルトホール大分 大会議室

受講料：無料

※開始30分前から入場可

お申込み：不要

※後期の会場は未定

共催：立命館アジア太平洋大学孔子学院、日本中国友好協会大分支部